



2月 うさぎ組だより



2026年2月2日 発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2

今月のねらい

- 季節のぎょうじを知り、うたったり踊ったりして楽しい雰囲気の中で楽しむ。
- 自分で着脱したり、片づけたりして意欲的に取り組む。



子どもたちの姿

最近のうさぎ組さんでは、「自分でやってみたい」という気持ちがぐんと育ってきています。着替えの時間になると、担任が手伝おうとする前に「自分でやる」「自分で履けるから」と、意欲的に取り組む姿が多く見られるようになりました。

自分で脱いでから履くまでを頑張る子も増え、その分ズボンや洋服が裏返ったままだったり、時にはパンツを履き忘れて帰ってしまうこともあり、ご家庭で驚かせてしまったかもしれません。申し訳ありません。

子どもたちの「やってみたい」という気持ちは大切にしながら、必要な場面では声をかけたり手を添えたりしてサポートしています。少しずつできることが増えていく姿に、私たちも成長を感じています。

ご家庭でも、着脱や排泄など“自分でやってみる”経験をぜひ取り入れてみてください。できた時の達成感が、次の意欲につながっていきます。

お楽しみ会楽しかったね♪

1月31日に開催された、おたのしみ会では、いつもと違う場所や雰囲気に戸惑い、受け入れ時に涙が出てしまう子もいました。それでも楽屋では、大好きなかばくんの絵本を読むとすぐに涙が止まったり、廊下を散歩して気持ちを切り替えたりと、それぞれが自分のペースで落ち着こうとする姿が見られました。

いざ舞台に上がる時には、笑顔を見せたり、「まーまばいばい」「ばばいた」などとかわいらしい声が聞こえたりして、普段の子どもたちの姿を保護者の皆さまにも見ていただけたのではないかと思います。

舞台の上では、楽しそうに歩いたりポーズを取ったりする姿があり、そのたびに客席から温かい拍手が響き、担任一同も心がほっこりしました。不安で涙が出てしまう子もいましたが、後半には気持ちが落ち着き、最後まで参加することができました。

短い時間ではありましたが、子どもたちにとっても、私たちにとっても、楽しいおたのしみ会となりました。ご参加いただき、ありがとうございました。

節分に向けてお面を作りました。

うさぎ組では、色とりどりのはな紙をクシュッと丸め、のりで使い捨て弁当容器に貼り付けて、世界にひとつだけのカワイイお面を作りました。ふわふわの質感やカラフルな色合いが子どもたちにも大人気で、夢中になって制作を楽しむ姿が見られました。

節分といえば「怖いおに」というイメージがあるかもしれませんが、うさぎ組では“カワイイおに”に変身して、子どもたちが安心して楽しめる節分を大切にしています。自分で作ったお面をつけることで、ちょっぴり特別な気持ちになれるようです。

2月3日の節分集会には、このお面をつけて参加する予定です。子どもたちがどんな表情で参加するのか、今からとても楽しみです。

